

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書
難治性腎障害に関する調査研究

岡田 浩一 埼玉医科大学・腎臓内科学

安田 宣成 名古屋大学・腎臓内科学

藤元 昭一 宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座/腎臓内科

要 伸也 杏林大学・第一内科学

柴垣 有吾 聖マリアンナ医科大学・腎臓内科学

土谷 健 東京女子医科大学・腎臓内科学

研究要旨

2016年に改訂された難治性腎疾患（IgA腎症、急速進行性腎炎、ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎）の診療ガイドラインの普及および遵守状況と診療実態の標準化を評価しつつ、より効果的な運用方法を明らかとする。また最新エビデンスの収集、海外ガイドラインとの比較、日本人データの検証を通じてガイドライン改訂の準備を進める。また難病拠点病院の設置に合わせ、その紹介基準案を策定し、ガイドラインに掲載する。

A . 研究目的

本研究課題が重点的に対象としてきた4疾患 (IgA 腎症、急速進行性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎) は、エビデンスに基づく診療ガイドラインが公表されているが、医療者・患者への周知と普及、腎予後、生命予後の改善に結びつく効果的な運用の実践には課題が残されている。腎疾患登録システム (J-RBR/J-KDR)、電子カルテから直接データを抽出する J-CKD-DB を有効に活用し、この課題の解決を目指す。診療ガイドラインの普及を行い、エビデンスの蓄積とともに診断基準・重症度分類・治療指針の検証 (日本人の臨床データの収集と諸外国のガイドラインとの比較を含む) を通じて、診療ガイドラインの改訂を行う。また難病拠点病院の設置に合わせ、その紹介基準案を策定する。

B . 研究方法

今までの4疾患に関するガイドラインを改訂するため、体制整備と情報収集を進める。なお下記の各疾患の担当者を研究分担者とする。IgA 腎症 (藤元昭一)、RPGN (要伸也)、ネフローゼ症候群 (柴垣有吾)、多発性嚢胞腎 (土谷健)。研究協力者として腎臓専門医に加え、各作成 WG には非専門家や患者などのパネリストを加え、必要最小限に厳選した PICO とクリニカルクエッション (CQ) を策定する。また SR に適さない CQ についてはテキスト形式による記述とする。

2016年に改訂され、2017年に出版された難治性腎疾患の診療ガイドラインの普及状況を調査し、ガイドラインの課題および取り上げるべきテーマを洗い出すため、腎臓専門医を対象としたWEB アンケートを実施する。

日本腎臓学会の協力のもと、学術委員会の下部組織としてシステムティックレビュー (SR) チームを若手学会員より組織する。GRADE システムに関する勉強会を実施する。

SR チームを中心にまずはエビデンスの収集をハンドサーチにより実施する。別途、IT による半自動化 SR システムによるエビデンス収集結果と突合し、網羅的なリストとする。収集されたエビデンスを GRADE システムに沿って、

SR を実施する。

(倫理面への配慮)

既に公開もしくはDB収録されている論文やデータの調査であり、倫理面での問題は無い。

C . 研究結果

各WGのメンバーおよび策定されたCQは以下の通りである。CQ選定の際には臨床的な重要性に加え、SR実施に値するエビデンス集積の有無を考慮した。重要なCQで十分なエビデンスのないものについては、テキスト形式で対応することとし、各ガイドラインの章立てを策定した。また難病拠点病院への紹介基準案作成・提案を行う予定であるが、専門医の勤務先病院と難病拠点病院との違いを盛り込む予定である。

IgA 腎症ワーキンググループ

研究分担者：藤元昭一 (宮崎大学腎臓内科)

研究協力者：鈴木祐介、鈴木仁、木原正夫、柳川宏之、武藤正浩 (順天堂大学腎臓内科)、小畑陽子 (長崎大学腎臓内科)、小池健太郎、清水昭博、岡部匡裕、佐々木峻也 (慈恵会医科大学腎・高血圧内科)、福田顕弘 (大分大学腎臓内科)、市川大介、小波津香織 (聖マリアンナ医科大学腎臓内科)、小松弘幸、菊池正雄 (宮崎大学腎臓内科)、中西浩一 (琉球大学大学院育成医学講座)、片淵律子 (福岡東医療センター)、松崎慶一 (京都大学環境安全保健機構健康管理部門)

非腎臓専門医パネリスト：患者代表

CQ:

・RA系阻害薬はIgA腎症に推奨されるか？

・副腎皮質ステロイド薬はIgA腎症に推奨されるか？

難病拠点病院への紹介基準案：

原則としてCKDの紹介基準を基に策定予定である。

急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ

研究分担者：要 伸也（杏林大学腎臓内科）

研究協力者：廣村桂樹（群馬大学腎臓・リウマチ内科）、臼井丈一（筑波大学腎臓内科）、尾田高志（東京医科大学八王子医療センター腎臓内科）、佐田憲映（岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科）、板橋美津世（東京都健康長寿医療センター腎臓内科・血液透析科）、平橋淳一（慶應義塾大学血液浄化・透析センター）、川口隆久（慶應義塾大学腎臓・内分泌・代謝内科）、宮脇義重（岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科）

非腎臓専門医パネリスト：患者会（膠原病友の会）より代表2名（血管炎、SLE）

CQ:

・ANCA 関連 RPGN の活動性・再燃の指標として ANCA 値は有用か？

・ANCA 関連 RPGN の初期治療として免疫抑制薬の追加は推奨されるか？

・ANCA 関連 RPGN の初期治療におけるCSの併用薬として RTX と CY のいずれが推奨されるか？

・ANCA 関連 RPGN の初期治療として血漿交換療法は推奨されるか？

・ANCA 関連 RPGN の寛解維持療法において（ステロイドの併用薬として）RTX と AZA のいずれが推奨されるか？

難病拠点病院への紹介基準案：

3 か月以内に 30% 以上の腎機能の悪化を認める場合を基準に策定予定である。

ネフローゼ症候群ワーキンググループ

研究分担者：柴垣有吾（聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科）

研究協力者：和田健彦（東海大学腎代謝内科）、石本卓嗣（名古屋大学腎臓内科）、栗田宜明（福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター）

清水さやか（京都大学医療疫学）、白井小百合（聖マリアンナ医科大学腎臓高血圧内科）、中屋来哉（岩手県立中央病院腎臓内科）、新畑覚也（厚生労働省）西脇宏樹（昭和大学藤が丘病院腎臓内科）、長谷川みどり（藤田保健衛生大学腎臓内科）、横山仁（金沢医科大学腎臓内科）
非腎臓専門医パネリスト：総合内科医、看護師、薬剤師、患者代表2名

CQ:

・成人の微小変化型ネフローゼ症候群の再発例において、推奨される治療は何か？

・成人の巣状分節性糸球体硬化症でステロイド抵抗性の患者において、免疫抑制薬は推奨されるか？

・成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症に、推奨される治療はなにか？

・成人のネフローゼ症候群における特発性膜性腎症の診断に、PLA2R の測定は推奨されるか？

難病拠点病院への紹介基準案：

疫学調査分科会との合議で策定予定である。

多発性嚢胞腎ワーキンググループ

研究分担者：土谷 建（東京女子医科大学腎臓内科）

研究協力者：西尾妙織、川島圭介（北海道大学病院内科）、石川英二（三重大学腎臓内科・血液浄化療法部）、金子佳賢（新潟大学腎・膠原病内科）、林 宏樹（藤田保健衛生大学・腎内科学）、本田謙次郎、石本遊（東京大学腎臓内分泌内科）、三戸部倫大（竹田総合病院腎臓内科）、中西浩一（琉球大学育成医学（小児科））、市川大介（聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科）

非腎臓専門医パネリスト：患者会より代表2名（ADPKD, ARPKD 各1名）、統計家、遺伝カウンセラー、薬剤師、臨床心理士、総合内科医

CQ:

・PKD 患者のトルバプタン治療は腎機能

低下抑制に有効か？

- ・高血圧を伴う PKD 患者への降圧治療は腎機能低下抑制に有効か？
- ・PKD 患者の腎嚢胞感染にフルオロキノロン系抗菌薬は有効か？
- ・PKD 患者に対する脳動脈瘤のスクリーニングは推奨されるか？

難病拠点病院への紹介基準案：

現在、検討中である。

アンケート調査結果のまとめ

・成人ネフローゼ症候群の診療に関する、本邦における Guideline practice gap の実態を明らかにするために、腎臓専門医を対象に成人ネフローゼ症候群診療に関するアンケート調査を行った。回答者 116 人のうち、初回寛解導入療法における追加免疫抑制剤の第一選択に関しては、MCNS、IMN とともにシクロスポリン（MCNS：99.1%、IMN：79.3%）を選択した回答者が最も多かった。寛解導入後ステロイド継続期間の中央値（四分位）は MCNS、IMN でそれぞれ 12 (9-18)ヶ月、12 (6-18)ヶ月であった。診療パターンにばらつきが認められたものと認められなかったものがあった。ばらつきが認められなかったものでもネフローゼ症候群診療ガイドラインの推奨とは異なる診療パターンもあった。腎臓専門医においても Guideline practice gap が存在した。（英文論文投稿中）

・IgA 腎症、RPGN、PKD の診療に関して、2017 年版 GL の普及と EBM が困難な診療の実態を調査するため、腎臓専門医を対象とした WEB アンケートを実施した。回答者 253 人において、80%以上が各 GL を時々以上の頻度で参考にしていた。エビデンスが不足しているために SR に値せず、テキスト形式で記載予定の CQ のための貴重な情報が得られた。例：(IgA 腎症)パルス療法を行わない扁桃摘出術単独の実施については、専門医間でのばらつきが大きかった。(RPGN) 高齢者の重症 MPA に対する薬物療法としては、ステロイドパルス療法が中心で、免疫抑制薬の併用は少なかった。(PKD)77%の腎臓専門医が脳動脈瘤の検索のための MR アンジオを 5 年以内に繰り返していた。

第 2 回目の SR チームの GRADE システム勉強会・IT による半自動化 SR システムの導入練習を平成 30 年 6 月 23 日に実施した。

平成 30 年 9 月 30 日までに発表されたエビデンスを用いた SR を開始した。まずはハンドサーチによる SR を実施し、IT による SR は検証に用いる予定である。

D．考察

日本腎臓学会が本年度に上梓した CKD 診療ガイドライン 2018 の難治性腎疾患の章を、本分科会のコアメンバーが作成担当した。この CKD 診療ガイドライン 2018 は、専門医がいない地域の医師に対し、診療を支援することを目指して作成された。一方、当分科会が改訂に着手した難治性腎疾患の診療ガイドライン 2020 は、腎臓専門医に標準的医療を伝え診療を支援するためのガイドラインであり、両者が補完することとなる。

本年度は 2017 年版の推奨内容に対するアンケートを実施し、Evidence-Practice Gap の実態が明らかとなった。2020 年版のガイドラインでは、標準治療の遵守を促進するための配慮が必要になると考えられる。また 2017 年版のガイドラインにおける SR に加え、海外ガイドライン、関連するコクランレビューや既存の SR 論文、これまでの主要な大規模臨床試験の資料を揃えた検討により、2020 年版のガイドラインで取り上げる CQ は上記のように厳選されたものとなった。ただし臨床現場で必要とされる CQ は多く残されており、それらについては既存のエビデンスに加えて、疫学分科会の最新の成果およびエキスパートオピニオンを適宜採用しつつ、テキスト部分に記載することとし、それらが網羅されるように章立てを作成した。次年度には SR の結果を踏まえた推奨・解説の作成およびテキスト部分の執筆が行われる。今回、新たに難病拠点病院への紹介基準案を策定、記載することとなったが、腎臓専門医が勤務する施設との棲み分けなど、検討課題が多く残されている。

E．結論

専門医および専門医不在の地域における非専門医による難治性腎疾患の診療をサポートするガイドラインの完全改訂版が作成される。その際、最新のエビデンスに加え、2017 年版ガイドラインの普及・遵守状況および利用者の意見、海外ガイドラインとの比較および本疫学分科

会の調査による日本の診療実態を反映させた改訂が行われる。加えて難病拠点病院の設置に合わせて、難病拠点病院への紹介基準案を提案する。

G . 研究発表

1 . 論文発表

1)エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018 日本腎臓学会編 東京医学社 2018

2) K Sueyoshi, et al. Predictors of long-term prognosis in acute kidney injury survivors who require continuous renal replacement therapy after cardiovascular surgery. PLOS ONE (in press)

3) H Amano, et al. Regional prescription surveillance of phosphate binders in the western Saitama area: the substantial role of ferric citrate hydrate in improving serum phosphorus levels and erythropoiesis. Clin Exp Nephrol (in press)

4) K. Sugiyama, et al. Reduced oxygenation but not fibrosis defined by functional magnetic resonance imaging predicts the long-term progression of chronic kidney disease. Nephrol Dial Transplant (in press)

5) H Kato, et al. Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. Clin Exp Nephrol. 2018 Jun 29. doi: 10.1007/s10157-018-1609-8.

6) S Ito, et al. Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. Clin Exp Nephrol. 2018 Jul 23. doi: 10.1007/s10157-018-1610-2.

7) R Yamamoto, et al. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. Clin Exp Nephrol. 2018 Dec;22(6):1266-1280.

8) K Furuichi, et al. Clinico-pathological features of kidney disease in diabetic cases. Clin Exp Nephrol. 2018 Oct;22(5):1046-1051.

9) H Kato, et al. Controversies of the classification of TMA and the terminology of aHUS. Clin Exp Nephrol. 2018 Aug;22(4):979-980.

10) J Hoshino, et al. A nationwide prospective cohort study of patients with advanced chronic kidney disease in Japan: The Reach-J CKD cohort study. Clin Exp Nephrol. 2018 Apr;22(2):309-317.

11) E Kanda, et al. Guidelines for clinical evaluation of chronic kidney disease : AMED research on regulatory science of pharmaceuticals and medical devices. Clin Exp Nephrol. (in press)

12) W Kubota, et al. A consensus statement on health-care transition of patients with

childhood-onset chronic kidney diseases: providing adequate medical care in adolescence and young adulthood. Clin Exp Nephrol. 2018 Aug;22(4):743-751

13) 藤元昭一： 肝疾患に伴う腎病変。 今日の診断指針 2018 年版(Vol 60)、(福井次矢、高木誠、小室一成、編) 医学書院、東京、2018 年、pp 594 - 595.

14) 藤元昭一： エリスロポイエチン . 腎と透析 Vol.84 増刊号「ベッドサイド検査辞典」(腎と透析編集委員会、編) 東京医学社、東京、2018 年、pp 166-168.

15) 藤元昭一、猪原登志子：ANCA 関連血管炎に対する血漿交換療法(PEXIVAS 試験を含む)。日本臨床 76 巻増刊号 6「血管炎(第2版) 臨床と基礎のクロストーク」, 日本臨床社、東京、2018 年 pp603-607.

16) 藤元昭一：IgA 腎症 診療の実際 expert 。IgA 腎症の臨床(湯村和子、編) 東京医学社、東京、2018 年、pp 306-309.

17) Kawagoe C, Sato Y, Toida T, Nakagawa H, Yamashita Y, Fukuda A, Iwatsubo S, Fujimoto S: N-terminal-pro-B-type-natriuretic peptide associated with 2-year mortality from both cardiovascular and non-cardiovascular origins in prevalent chronic hemodialysis patients. Ren Fail 40(1):127-134, 2018.

18) Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, Funamoto T, Kitajima S, Hara A, Ogawa D, Koya D, Ikeda K, Koshino Y, Kurokawa Y, Abe H, Mori K, Nakayama M, Konishi Y, Samejima K, Matsui M, Yamauchi H, Gohda T, Fukami K, Nagata D, Yamazaki H, Yuzawa Y, Suzuki Y, Fujimoto S, Maruyama S, Kato S, Naito T, Yoshimura K, Yokoyama H, Wada T: Decline in estimated glomerular filtration rate is associated with risk of end-stage renal disease in type 2 diabetes with macroalbuminuria: an observational study from JDNCs. Clin Exp Nephrol 22(2):377-387, 2018.

19) Kon S, Konta T, Ichikawa K, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T: Association between renal function and cardiovascular and all-cause mortality in the community-based elderly population: results from the Specific Health Check and Guidance Program in Japan. Clin Exp Nephrol 22(2):346-352, 2018.

20) Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable

- Vasculitis Guideline: Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study. *J Rheumatol* 45(4):521-528, 2018.
- 21) Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T; "Design of the Comprehensive Health Care System for Chronic Kidney Disease (CKD) Based on the Individual Risk Assessment by Specific Health Check": Glucosuria and all-cause mortality among general screening participants. *Clin Exp Nephrol* 22(4):850-859, 2018.
- 22) Kimura Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Isaka Y, Iseki K, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Moriyama T, Watanabe T: Alcohol consumption and incidence of proteinuria: a retrospective cohort study. *Clin Exp Nephrol* 22(5):1133-1142, 2018.
- 23) Wada T, Muso E, Maruyama S, Hara A, Furuichi K, Yoshimura K, Miyazaki M, Sato E, Abe M, Shibagaki Y, Narita I, Yokoyama H, Mori N, Yuzawa Y, Matsubara T, Tsukamoto T, Wada J, Ito T, Masutani K, Tsuruya K, Fujimoto S, Tsuda A, Suzuki H, Kasuno K, Terada Y, Nakata T, Iino N, Kobayashi S: Rationale and study design of a clinical trial to assess the effects of LDL apheresis on proteinuria in diabetic patients with severe proteinuria and dyslipidemia. *Clin Exp Nephrol* 22(3):591-596, 2018.
- 24) Sato Y, Fujimoto S, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T: Anemia as a risk factor for all-cause mortality: obscure synergic effect of chronic kidney disease. *Clin Exp Nephrol* 2018 Apr;22(2):388-394.
- 25) Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T: Dipstick proteinuria and all-cause mortality among the general population. *Clin Exp Nephrol* 22(6):1331-1340, 2018.
- 26) Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T; 'Design of the Comprehensive Health Care System for Chronic Kidney Disease (CKD) Based on the Individual Risk Assessment by Specific Health Check'. Association of dipstick hematuria with all-cause mortality in the general population: results from the specific health check and guidance program in Japan. *Nephrol Dial Transplant* 33(5):825-832, 2018.
- 27) Kubota W, Honda M, Okada H, Hattori M, Iwano M, Akioka Y, Ashida A, Kawasaki Y, Kiyomoto H, Sako M, Terada Y, Hirano D, Fujieda M, Fujimoto S, Masaki T, Ito S, Uemura O, Gotoh Y, Komatsu Y, Nishi S, Maru M, Narita I, Maruyama S: A consensus statement on health-care transition of patients with childhood-onset chronic kidney diseases: providing adequate medical care in adolescence and young adulthood. *Clin Exp Nephrol* 22(4):743-751, 2018.
- 28) Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; For Japan Research Committee of the Ministry of Health Labour, Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health Labour, Welfare of Japan: Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies. *Arthritis Rheumatol* 70(10):1626-1633, 2018.
- 29) Komatsu H, Fujimoto S, Maruyama S, Mukoyama M, Sugiyama H, Tsuruya K, Sato H, Soma J, Yano J, Itano S, Nishino T, Sato T, Narita I, Yokoyama H: Distinct characteristics and outcomes in elderly-onset IgA vasculitis (Henoch-Schönlein purpura) with nephritis: Nationwide cohort study of data from the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *PLoS One* 13(5):e0196955, 2018.
- 30) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y: Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. *Clin Exp Nephrol* 22(6):1266-1280, 2018.
- 31) Otaki Y, Watanabe T, Konta T, Watanabe M, Fujimoto S, Sato Y, Asahi K, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T: Effect of hypertension on aortic artery disease-related mortality - 3.8-year nationwide community-based prospective cohort study. *Circ J* 82(11):2776-2782, 2018.
- 32) Sato Y, Toida T, Nakagawa H, Iwakiri T, Nishizono R, Kikuchi M, Fujimoto S: Diminishing dry weight is strongly associated with all-cause mortality among long-term maintenance prevalent

- dialysis patients. PLoS One 13(8):e0203060, 2018.
- 33) Ogata E, Asahi K, Yamaguchi S, Iseki K, Sato H, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro M: Low fasting plasma glucose level as a predictor of new-onset diabetes mellitus on a large cohort from a Japanese general population. *Sci Rep* 8(1):13927, 2018.
- 34) 西 桂子, 小川 修, 戸井田 達典, 藤元 昭一: オンライン HDF 療法における薬剤除去率-血液透析療法との比較。九州人工透析研究会誌 3:5-8, 2018.
- 35) 岡田 浩一, 安田 宣成, 旭 浩一, 伊藤 孝史, 要 伸也, 神田 英一郎, 菅野 義彦, 四方賢一, 柴垣 有吾, 土谷 健, 鶴屋 和彦, 長田太助, 成田 一衛, 南学 正臣, 服部 元史, 濱野高行, 藤元 昭一, 守山 敏樹, 山縣 邦弘, 山本陵平, 若杉 三奈子, 他, CKD 診療ガイド・ガイドライン改訂委員会: 日本腎臓学会エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018. *日腎会誌* 60(8):1037-1193, 2018.
- 36) 佐古 まゆみ, 三浦 健一郎, 芦田 明, 石倉健司, 井上 勉, 後藤 芳充, 小松 康宏, 重松隆, 杉山 斉, 寺野 千香子, 中西 浩一, 西尾妙織, 幡谷 浩史, 藤元 昭一, 向山 政志, 吉矢邦彦, 本田 雅敬, 岩野 正之, 服部 元史: 「小児慢性腎臓病患者における移行医療についての提言」と「思春期・青年期の患者のための CKD 診療ガイド」の認知度、理解度、活用度に関するアンケート調査の報告。 *日腎会誌* 60(7):972-977, 2018.
- 37) 菊池正雄, 藤元昭一: F. 腎臓内科へコンサルト 浮腫。もっとうまくいく! 病診連携の「伝え方」-わかりやすく伝えるための診療情報提供書作成のコツ。(第 II 章)<診療科別>コンサルトのポイント *内科* 122(3):586-588, 2018.
- 38) 福田顕弘, 藤元昭一: 「IgA 腎症診療ガイドライン 2017」~ 2014 年版との変更点を中心に ~ 難治性腎疾患マネージメント。エビデンスに基づく新しい腎臓病診療。最新医学 73(12):1624-1632, 2018.
- 39) 臼井丈一, 山縣邦弘: 第 2 編第 4 章第 4 節 プレシジョン・メディシンの腎臓内科疾患への応用、医療革命プレシジョン・メディシン研究最前線、佐藤孝明他監修、株式会社エヌ・ティー・エス、p311-318、2018 年 10 月
- 40) 荒川洋, 臼井丈一: 6 章. 慢性腎不全診療の実際 Q29. CKD ステージ G3b ~ 5 患者の腎排泄性薬剤投与時の投与方法を教えてください。腎臓専門医のための CKD 診療 Q&A、山縣邦弘ら編、東京医学社、p127-129、2018 年 11 月
- 41) 臼井丈一: 第 6 章免疫血清 8. 抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 透析患者の検査値の読み方、改訂第 4 版、深川雅史監修、日本メディカルセンター、p297、2019 年 1 月
- 42) 臼井丈一: 第 6 章免疫血清 9. 抗系球体基底膜 (GBM) 抗体、透析患者の検査値の読み方、改訂第 4 版、深川雅史監修、日本メディカルセンター、p298、2019 年 1 月
- 43) 臼井丈一: 急速進行性腎炎症候群 (RPGN) year note TOPICS 2019-2020、メディックメディア、pE8-E10、2019 年 3 月
- 44) 遠藤修一郎、柳田素子: 「急性腎障害 up-to-date」(循環器内科 Vol85.No1 Jan 2019) (科学評論社)
- 45) 平橋 淳一: 【血管炎(第 2 版)-基礎と臨床のクロストーク-】最新の研究トピックス 基礎研究の進歩 抗ラクトフェリン抗体と ANCA 関連血管炎 *日本臨床* 76(増刊 6 血管炎(第 2 版)) 488-491 2018 年 7 月
- 46) 美馬亨, 大矢昌樹, 根木茂雄, 重松隆: トシリズマブと TNF 阻害薬の新血管安全性に対する比較。 *リウマチ科* 59(6): 647-652, 2018.
- 47) 尾田高志, 吉澤信行: 抗ストレプトリジン O (ASO), 抗ストレプトキナーゼ (ASK). 透析患者の検査値の読み方 第 4 版 出版社: 日本メディカルセンター, 深川 雅史・監・花房規男・鶴屋和彦・駒場大峰・編 2019 年 1 月 10 日 ISBN: 9784888753104
- 48) Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. Japanese Society of Nephrology. *Clin Exp Nephrol*. 2018. *Clin Exp Nephrol* 23: 1-15, 2019.
- 49) Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H.: Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. *Clin Exp Nephrol*. 2019 Jan;23(1):65-75.
- 50) Yakushiji H, Hashimura C, Fukuoka K, Kaji A, Miyahara H, Kaname S, Horiuchi T: A missense mutation of the plasminogen gene in hereditary angioedema with normal C1 inhibitor in Japan. *Allergy*. 2018; 73:2244-2247.
- 51) Higashihara E, Yamamoto K, Kaname S, Okegawa T, Tanbo M, Yamaguchi T, Shigemori K, Miyazaki I, Yokoyama K, Nutahara K: Age- and height-adjusted total kidney volume growth rate in autosomal dominant polycystic kidney diseases. *Clin Exp Nephrol* 2018. doi: 10.1007/s10157-018-1617-8. [Epub ahead of print]
- 52) Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M,

- Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H: Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. *Clin Exp Nephrol* 2018. doi: 10.1007/s10157-018-1609-8. [Epub ahead of print]
- 53) Saraya T, Fukuoka K, Maruno H, Komagata Y, Fujiwara M, Kaname S, Arimura Y, Yamada A, Takizawa H: Tenosynovitis with Rice Body Formation Due to Mycobacterium Intracellulare Infection After Initiation of Infliximab Therapy. *Am J Case Rep* 2018;19:656-662.
- 54) Higashihara E, Horie S, Kinoshita M, Harris PC, Okegawa T, Tanbo M, Hara H, Yamaguchi T, Shigemori K, Kawano H, Miyazaki I, Kaname S, Nutahara K: A potentially crucial role of the PKD1 C-terminal tail in renal prognosis. *Clin Exp Nephrol* 2018; 22:395-404.
- 55) Ryoya Tsunoda, Joichi Usui, Junichi Hoshino, Takayuki Fujii, Satoshi Suzuki, Kenmei Takaichi, Yoshifumi Ubara, Kunihiro Yamagata. Corticosteroids pulse therapy and oral corticosteroids therapy for IgA nephropathy patients with advanced chronic kidney disease: results of a multicenter, large-scale, long-term observational cohort study. *BMC Nephrology* 19: 222, 2018
- 56) Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Michio Nagata, Hitoshi Sugiyama, Ken-ei Sada, Eri Muso, Masayoshi Harigai, Koichi Amano, Tatsuya Atsumi, Shouichi Fujimoto, Yukio Yuzawa, Masaki Kobayashi, Takao Saito, Takafumi Ito, Nobuhito Hirawa, Sakae Homma, Hiroaki Dobashi, Naotake Tsuboi, Akihiro Ishizu, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Seiichi Matsuo, and for Research Committee of Intractable Renal Disease and Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Histopathological classification of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study. *Clin Exp Nephrol* 23: 387-394, 2019
- 57) Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Hitoshi Sugiyama, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita. Temporal change in life and renal prognosis of rapidly progressive glomerulonephritis in Japan via nationwide questionnaire survey. *Clin Exp Nephrol* 2018 in press
- 58) Aika Suzuki, Susumu Sakamoto, Atsuko Kurosaki, Yasuyuki Kurihara, Keita Satoh, Yusuke Usui, Toshihiro Nanki, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Yasunori Okada, Masayoshi Harigai, Kunihiro Yamagata, Hitoshi Sugiyama, Hiroaki Dobashi, Akihiro Ishizu, Naotake Tsuboi, Joichi Usui, Ken-ei Sada, Sakae Homma, and for Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Chest high-resolution CT findings of microscopic polyangiitis: a Japanese first nationwide prospective cohort study. *AJR* 213: 1-11, 2019
- 59) 横山千恵、臼井丈一、萩原正大、高野恵輔、大河内信弘、南木融、川上康、山縣邦弘：尿中ポドサイト数の推移を確認した移植腎巣状分節性糸球体硬化症の1例、日本臨床腎移植学会雑誌 6(1): 87-89, 2018
- 60) 臼井丈一、山縣邦弘：7.抗GBM病(1)疫学・病態、血管炎(第2版)日本臨床増刊号、p377-381、2018年7月
- 61) 高橋真由美、臼井丈一：免疫抑制薬、月刊薬事 60(16): 62-67、2018年12月
- 62) Yamanouchi M, Hoshino J, Ubara Y, Takaichi K, Kinowaki K, Fujii T, Ohashi K, Mise K, Toyama T, Hara A, Kitagawa K, Shimizu M, Furuichi K, Wada T. Value of adding the renal pathological score to the kidney failure risk equation in advanced diabetic nephropathy. *PLoS One*. 13(1): e0190930, 2018
- 63) Hoshino J, Furuichi K, Yamanouchi M, Mise K, Sekine A, Kawada M, Sumida K, Hiramatsu R, Hasegawa E, Hayami N, Suwabe T, Sawa N, Hara S, Fujii T, Ohashi K, Kitagawa K, Toyama T, Shimizu M, Takaichi K, Ubara Y, Wada T. A new pathological scoring system by the Japanese classification to predict renal outcome in diabetic nephropathy. *PLoS One*. 13(2): e0190923, 2018
- 64) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 22(6):1266-1280, 2018
- 65) Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, Funamoto T, Kitajima S, Hara A, Iwata Y, Sakai N, Takamura T, Kitagawa K, Yoshimura M, Kaneko S, Yokoyama H, Wada T; Kanazawa Study Group for Renal Diseases and Hypertension. Association of renal arteriosclerosis and hypertension with renal and cardiovascular outcomes in Japanese type 2 diabetic patients with diabetic nephropathy. *J Diabetes*

- Investig. 2018 Dec 5. doi: 10.1111/jdi.12981. [Epub ahead of print]
- 66)Takaya Handa, Hiroko Kakita, Yu Tateishi, Tomomi Endo, Hiroyuki Suzuki, Toshiro Katayama, Tatsuo Tsukamoto, Eri Muso : The features in IgA-dominant infection-related glomerulonephritis distinct from IgA nephropathy:a single-center study:Clinical and Experimental Nephrology 2018 Oct : 22(5):pp1116-1127
- 67)Kawasaki A, Yamashita K, Hirano F, Sada KE, Tsukui D, Kondo Y, Kimura Y, Asako K, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Nagasaka K, Sugihara T, Yamagata K, Sumida T, Tohma S, Kono H, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. Association of ETS1 polymorphism with granulomatosis with polyangiitis and proteinase 3-anti-neutrophil cytoplasmic antibody positive vasculitis in a Japanese population. *J Hum Genet.* 63 : 55-62, 2018
- 68)Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis. Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study. *J Rheumatol.*45:521-528, 2018
- 69)Nagasaka K, Harigai M, Hagino N, Hara A, Horita T, Hayashi T, Itabashi M, Ito S, Katsumata Y, Kawashima S, Naniwa T, Sada KE, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y. 2018 Systematic Review and Meta-analysis for 2017 Clinical Practice Guidelines of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the Management of ANCA-associated Vasculitis. *Mod Rheumatol.* 25:1-11, 2018
- 70)Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; For Japan Research Committee of the Ministry of Health Labour, Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health Labour, Welfare of Japan. Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies. *Arthritis Rheumatol.*70:1626-1633, 2018
- 71)Kawaguchi T, Yoshida T, Hirahashi J, Uehara T, Takenouchi T, Kosaki K, Itoh H, Hayashi M.: Expanding Phenotype of Nephronophthisis-Related Ciliopathy: an Elderly Patient with Homozygous RPGRIP1L Mutation. *Nephron.* 2018;140(1):74-78. doi: 10.1159/000490770. Epub 2018 Jul 10.
- 72)Okubo K, Kurosawa M, Kamiya M, Urano Y, Suzuki A, Yamamoto K, Hase K, Homma K, Sasaki J, Miyauchi H, Hoshino T, Hayashi M, Mayadas TN, Hirahashi J. Macrophage extracellular trap formation promoted by platelet activation is a key mediator of rhabdomyolysis-induced acute kidney injury. *Nat Med.* 24(2):232-238 (2018)
- 73)廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和 : 腎疾患診療の未来 最新知見のエッセンシャル 腎疾患の新たな治療の可能性: ループス腎炎治療薬の進歩. *診断と治療.* 2018; 106:500-504.
- 74)廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和 : 腎臓病のエンドポイント: ループス腎炎のエンドポイント. *日本腎臓学会誌.* 2018; 60:601-606.
- 75)池内秀和, 廣村桂樹 : 最近のループス腎炎治療: カルシニューリン阻害薬ならびにマルチターゲット療法の可能性. *日本医事新報.* 2019; 4947. 36-42.
- 76)廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和: 膠原病の難治性病変: 難治性ループス腎炎. *臨床リウマチ* 2019; 30:215-223.
- 77)廣村桂樹 : 血管炎(第2版) -基礎と臨床のクロストーク- 小型血管炎: 抗 GBM 病. *診断・治療. 日本臨床.* 2018; 76(増刊 6): 382-387.
- 78)池内秀和, 諏訪絢也, 廣村桂樹 : 難治性ループス腎炎のマネジメント : リウマチ科. 2019; 60:315-321.
- 79)Iwashita Y, Ohya M, Yashiro M, Sonou T, Kawakami K, Nakashima Y, Yano T, Iwashita Y, Mima T, Negi S, Kubo K, Tomoda K, Odamaki T, Shigematsu T : Dietary changes involving *Bifidobacterium longum* and other nutrients delays CKD progression. *Am J Nephrol,* 47(5): 325-332, 2018.
- 80)Kojima T, Hirose G, Komatsu S, Oshima T, Sugisaki K, Tomiyasu T, Yoshikawa N, Yamada M, Oda T: Development of anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis during the course of IgA nephropathy: a case report. *BMC Nephrol.* 2019 Jan 25;20(1):25. doi: 10.1186/s12882-019-1207-3.
- 81)Kohatsu K, Suzuki T, Yazawa M, Yahagi K, Ichikawa D, Koike J, Oda T, Shibagaki Y.: Granulomatosis With Polyangiitis Induced by Infection. *Kidney Int Rep.* 2018 Sep 26;4(2):341-345. doi: 10.1016/j.ekir.2018.09.010. eCollection 2019 Feb.
- 82)Ito S, Uchida T, Oshima N, Oda T, Kumagai H: Development of membranoproliferative glomerulonephritis-like glomerulopathy in a patient

- with neutrophilia resulting from endogenous granulocyte-colony stimulating factor overproduction: a case report. *BMC Nephrol.* 2018 Oct 4;19(1):251. doi: 10.1186/s12882-018-1049-4.
- 83)Okabe M, Takamura T, Tajiri A, Tsuboi N, Ishikawa M, Ogura M, Ohashi R, Oda T, Yokoo T: A case of infection-related glomerulonephritis with massive eosinophilic infiltration. *Clin Nephrol.* 2018 Aug;90(2):142-147. doi: 10.5414/CN109415.
- 84)Komaru Y, Ishioka K, Oda T, Ohtake T, Kobayashi S: Nephritis-associated plasmin receptor (NAPlr) positive glomerulonephritis caused by *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* bacteremia: A case report. *Clin Nephrol.* 2018 Aug;90(2):155-160. doi: 10.5414/CN109173.
- 85)水野 裕基, 小黒 昌彦, 関根 章成, 川田 真宏, 平松 里佳子, 住田 圭一, 長谷川 詠子, 山内 真之, 早見 典子, 澤 直樹, 星野 純一, 乳原 善文, 高市 憲明, 原 茂子, 藤井 丈士, 大橋 健一, 小野江 為人, 川野 充弘, 森 崇寧, 蘇原 映誠, 内田 信一, 本田 一穂, 尾田 高志: 腎生検所見から何を学ぶか(No.62) 東京腎生検カンファレンス 常染色体優性遺伝形式の間質性腎炎の家族歴を有し遺伝子検査でADTKD-UMODと診断された男性の1例. 腎と透析 2018 85(4): 587-594.
- 86)Umino H, Hasegawa K, Minakuchi H, Muraoka H, Kawaguchi T, Kanda T, Tokuyama H, Wakino S, Itoh H.: High Basolateral Glucose Increases Sodium-Glucose Cotransporter 2 and Reduces Sirtuin-1 in Renal Tubules through Glucose Transporter-2 Detection. *Sci Rep.* 2018 May 1;8(1):6791. doi: 10.1038/s41598-018-25054-y.
- 87)Combined cyclosporine and prednisolone therapy using cyclosporine blood concentration monitoring for adult patients with new-onset minimal change nephrotic syndrome. Shirai S, Imai N, Sueki S, Matsui K, Tominaga N, Sakurada T, Yasuda T, Kimura K, Shibagaki Y. *Clin Exp Nephrol.* 2018; 22: 283-290.
- 88)Post-transplant immunoglobulin A deposition and nephropathy in allografts. Sofue T, Suzuki H, Ueda N, Kushida Y, Minamino T. *Nephrology* 2018; 23 (Suppl.2): 1-689.
- 89)Nonproteinuric Versus Proteinuric Phenotypes in Diabetic Kidney Disease: A Propensity Score-Matched Analysis of a Nationwide, Biopsy-Based Cohort Study. Yamanouchi M, Furuichi K, Hoshino J, Toyama T, Hara A, Shimizu M, Kinowaki K, Fujii T, Ohashi K, Yuzawa Y, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Hisano S, Ueda Y, Nishi S, Yokoyama H, Nishino T, Samejima K, Kohagura K, Shibagaki Y, Mise K, Makino H, Matsuo S, Ubara Y, Wada T; Research Group of Diabetic Nephropathy, the Ministry of Health, Labour and Welfare, and the Japan Agency for Medical Research and Development. *Diabetes Care.* 2019 [Epub ahead of print]
- 90)A case of biopsy-proven oxaliplatin-induced acute tubulointerstitial nephritis with thrombocytopenia and anemia. Yamada S, Yazawa M, Yamamoto M, Koitabashi K, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. *CEN Case Rep.* 2019 [Epub ahead of print]
- 91)Granulomatosis With Polyangiitis Induced by Infection. Kohatsu K, Suzuki T, Yazawa M, Yahagi K, Ichikawa D, Koike J, Oda T, Shibagaki Y. *Kidney Int Rep.* 2018; 4(2):341-345.
- 92)A Case of Self-Limiting Crescentic Immunoglobulin A Glomerulonephritis Associated with Sternoclavicular Arthritis. Fujita Y, Suzuki T, Han W, Watanabe S, Yahagi K, Nakata M, Okamoto T, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. *Case Rep Nephrol Dial.* 2018; 8: 246-252.
- 93)Tubulointerstitial Nephritis Associated with Enteritis and Sacroiliitis. Ushimaru S, Ichikawa D, Yazawa M, Suzuki T, Okada E, Koike J, Shibagaki Y. *Intern Med.* 2019; 58: 79-84.
- 94)Dipstick proteinuria and all-cause mortality among the general population. Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T. *Clin Exp Nephrol.* 2018; 22: 1331-1340.
- 95)Rapid and Complete Remission of Class IV Lupus Nephritis with Massive Wire Loop Lesions. Suzuki T, Matsumura R, Kitamura H, Shibagaki Y. *Case Rep Nephrol Dial.* 2018; 8: 56-61.
- 96)Can nutcracker phenomenon cause glomerular hematuria? Suzuki T, Imai N, Hisamichi M, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. *Nephrology (Carlton).* 2018; 23: 495.
- 97)Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. *Clin Exp Nephrol.* 2018; 22: 1266-1280.
- 98)Emphysematous cystitis and spontaneous sigmoid colon perforation in a patient with steroid-dependent nephrotic syndrome. Kojima S,

Imai N, Yamamoto M, Taki Y, Kaneshiro N, Shibagaki Y. *Nephrology (Carlton)*. 2018; 23: 287-99)Therapeutic efficacy of rituximab for the management of adult-onset steroid-dependent nephrotic syndrome: a retrospective study. Katsuno T, Masuda T, Saito S, Kato N, Ishimoto T, Kato S, Kosugi T, Tsuboi N, Kitamura H, Tsuzuki T, Ito Y, Maruyama S. *Clin Exp Nephrol*. 2019; 23: 207-214.

100)Liddle's-like syndrome associated with nephrotic syndrome secondary to membranous nephropathy: the first case report. Yamaguchi E, Yoshikawa K, Nakaya I, Kato K, Miyasato Y, Nakagawa T, Kakizoe Y, Mukoyama M, Soma J. *BMC Nephrol*. 2018; 19: 122.

101)Investigation on the benefits of mycophenolate mofetil and therapeutic drug monitoring in the treatment of Japanese patients with lupus nephritis. Katsuno T, Ozaki T, Ozeki T, Hachiya A, Kim H, Kato N, Ishimoto T, Kato S, Kosugi T, Tsuboi N, Mizuno M, Ito Y, Maruyama S. *Clin Exp Nephrol*. 2018; 22: 1341-1350.

102)Ozeki T, Katsuno T, Hayashi H, Kato S, Yasuda Y, Ando M, Tsuboi N, Hagiwara D, Arima H, Maruyama S. Short-term Steroid Regimen for Adult Steroid-sensitive Minimal Change Disease. *Am J Nephrol*. 2019;49:54-63

103)Ozeki T, Ando M, Yamaguchi M, Katsuno T, Kato S, Yasuda Y, Tsuboi N, Maruyama S. Treatment Patterns and Steroid Dose for Adult Minimal Change Disease Relapses: A Retrospective Cohort Study. *PLoS One*. 2018 Jun 18;13(6):e0199228.

104)合併症対策とエビデンス 脂質異常症、耐糖能異常.石本卓嗣,湯澤由紀夫.腎と透析(0385-2156)85巻6号Page859-863(2018.12)

105)治療のエビデンスとその構築 成人ネフローゼ症候群 ステロイドの使い方.丸山彰一,尾関貴哉,石本卓嗣,勝野敬之.腎と透析(0385-2156)85巻6号Page801-806(2018.12)

106)MCNSとLupus podocytopathyの鑑別を要した1例.石田智子,山本理恵,増田智広,斎藤尚二,加藤規利,石本卓嗣,小杉智規,坪井直毅,丸山彰一
日本腎臓学会誌(0385-2385)60巻6号Page729(2018.08)

107)ネフローゼ症候群の診断と治療の進歩.丸山彰一,秋山真一,勝野敬之,石本卓嗣,坪井直毅.最新医学(0370-8241)73巻8号Page1106-1114(2018.08)

108)腎臓内科へコンサルト ネフローゼ症候群.石本卓嗣.内科(0022-1961)122巻3号Page589-591(2018.09)

2. 学会発表

- 1) 岡田 浩一. CKDにおける血圧管理. 第41回日本高血圧学会総会 旭川
- 2) 小野 淳, 友利 浩司, 井上 勉, 岡田 浩一. 血液透析を導入した75歳以上の高齢者の生命予後と導入前の血清アルブミン変動の検討. 第61回日本腎臓学会学術総会新潟
- 3) 山本 陵平, 伊藤 孝史, 江川 雅博, 松井 浩輔, 名波 正義, 長澤 康行, 岡田 浩一. 慢性腎臓病患者における運動療法の有効性 systematic review. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 4) 大久保 麗子(筑波大学 医学医療系保健医療政策学・医療経済学), 近藤 正英, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者の運動習慣と生活について REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会新潟
- 5) 甲斐 平康, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者の蛋白・塩分摂取量に関する検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 6) 星野 純一, 永井 恵, 角田 亮也, 甲斐 平康, 大久保 麗子, 斎藤 知栄, 近藤 正英, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者の原疾患分布と腎機能低下速度の検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 7) 玉垣 圭一, 三原 悠, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者における心血管疾患の既往 REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 8) 角田 亮也, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者の原疾患分布,CKDステージ毎の家庭血圧の測定状況の検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 9) 斎藤 知栄, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期CKD患者への腎代替療法の情報提供の時期と内容について REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 10) 山本 陵平, 宮里 賢和, 藤井 良幸, 高橋 和也, 秋山 大一郎, 古屋 文彦, 岡田

- 浩一, 北村 健一郎. 慢性腎臓病患者における肺炎球菌ワクチンの有効性 Systematic Review. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 1 1) 青木 克憲, 長谷川 祥子, 木村 良紀, 松隈 祐太, 猪阪 善隆, 岡田 浩一, 鶴屋 和彦, 山本 陵平. CKD患者におけるスタチン治療 Systematic Review and Meta-Analysis. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 1 2) 安田 宜成, 板野 祐也, 岡崎 雅樹, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘, 丸山 彰一. 慢性腎臓病患者の癌合併に関する研究 REACH-J-CKD. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 1 3) 杉山 圭, 井上 勉, 小澤 栄人, 石川 雅浩, 小林 直樹, 田中 淳司, 岡田 浩一. 腎皮質の低酸素状態は慢性腎臓病を進行させる. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
- 1 4) Sato Y, Fujimoto S: Diminishing dry weight strongly associates mortality among prevalent long-term maintained dialysis patients. 55th ERA-EDTA Congress 2018.5 (Copenhagen, Denmark)
- 1 5) Toid T, Sato Y, Kitamura K, Fujimoto S: Predialysis and postdialysis uric acid difference and risk of long-term all-cause and cardiovascular mortality in Japanese hemodialysis patients; Miyazaki Dialysis Cohort study (MID study). 55th ERA-EDTA Congress 2018.5 (Copenhagen, Denmark)
- 1 6) Fukuda A, Sato Y, Minakawa A, Kikuchi M, Fujimoto S: Urinary excretion of podocyte mRNA is risk prediction biomarkers in progression of diabetic nephropathy: 2-year follow up study. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
- 1 7) Toida T, Sato Y, Ogata S, Wada A, Masakane I, Fujimoto S: Synergic impact of BMI, diabetes, and age on long-term mortality in incident Japanese hemodialysis patients: A cohort study of the large national dialysis registry. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
- 1 8) Minakawa A, Fukuda A, Kikuchi M, Sato Y, Fujimoto S: Urine podocin: nephrin mRNA ratio (PNR) associates activity of crescentic necrotizing glomerulonephritis (CNGN). The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
- 1 9) Nishimoto M, Yamagata K, Konta T, Fujimoto S, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T, Tagawa M, Tsuruya K, Matsui M, Eriguchi M, Samejima K, Iseki K, Iseki C, Asahi K: Prediction model for cardiovascular death including proteinuria and estimated glomerular filtration rate in a general population. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
- 20) 今田恒夫, 守山敏樹, 柴垣有吾, 笠原正登, 成田一衛, 藤元昭一, 井関邦敏, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 近藤正英, 旭浩一, 渡辺毅: 特定健診男性受診者における血清尿酸値と生命予後の関連. 第51回日本痛風・核酸代謝学会総会 2018.2 (米子)
- 21) 藤元昭一: 血管炎診療 Up to date. 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)
- 22) 佐藤祐二, 藤元昭一: シンポジウム 8, IgA腎症治療の新展開. IgA腎症に対する免疫抑制療法のは是非 ~ STOP-IgAN, TESTING 研究を踏まえて ~ 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)
- 23) 古郷博紀, 落合彰子, 皆川明大, 岩切太幹志, 西園隆三, 菊池正雄, 中川秀人, 佐藤祐二, 藤元昭一: コレステロール結晶塞栓症(CCE)に対し, LDLアフェレーシス(LDL-A)と少量ステロイド併用療法が有効であった維持血液透析患者の一例. 日本内科学会ことはじめ 2018 京都 2018.4 (京都)
- 24) 徳田温子, 佐藤祐二, 皆川明大, 新屋琴子, 岩切太幹志, 西園隆三, 菊池正雄, 中川秀人, 藤元昭一: リツキシマブをスケジュール投与中に妊娠し, 出産した難治性ネフローゼ症候群の一例. 日本内科学会ことはじめ 2018 京都 2018.4 (京都)
- 25) 福田顕弘, 皆川明大, 菊池正雄, 佐藤祐二, 黒澤寛之, 原正則, 藤元昭一: 糸球体疾患における尿沈査ポドサイト mRNA 排泄量と尿上清ポドカリキシン蛋白定量の意義. 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)
- 26) 皆川明大, 福田顕弘, 菊池正雄, 佐藤祐二, 藤元昭一: カロリー制限による糖尿病性腎症改善機序 糸球体・ポドサイト容積ミスマッチ, mTORC1抑制を介して 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)
- 27) 村澤昌, 古澤彩美, 内田大介, 木戸亮, 河原崎宏雄, 渡辺毅, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 藤元昭一, 今田恒夫, 成田一衛, 近藤正英, 笠原正登, 旭浩一, 柴垣有吾: 慢性腎臓病の有無による歩行速度と死亡の関係 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

- 28)木村良紀、山本陵平、猪阪善隆、井関邦敏、山縣邦弘、鶴屋和彦、吉田英昭、藤元昭一、旭浩一、守山敏樹、渡辺毅：CKD患者における飲酒量と腎機能予後：後向きコホート研究。第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6(新潟市)
- 29)新屋琴子、皆川明大、岩切太幹志、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：膜性腎症の組織型を呈したIgG1-Kappa型PGNMIDの一例。第48回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9(徳島)
- 30)石崎友梨、海老原尚、麻生久美子、新屋琴子、皆川明大、岩切太幹志、中川秀人、西園隆三、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：異なる組織像を呈したANCA陽性ループス腎炎(LN)の2例。第48回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9(徳島)
- 31)茅野正行、落合彰子、山下理沙、皆川明大、西園隆三、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：持続する蛋白尿と近位尿細管障害から診断に至ったLight chain proximal tubulopathy(LCPT)の一例。第48回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9(徳島)
- 32)海老原尚、石崎友梨、麻生久美子、新屋琴子、皆川明大、岩切太幹志、西園隆三、中川秀人、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：巣状糸球体硬化症(FSGS)によるネフローゼ症候群(NS)に対してリツキシマブ(RTX)が著効した一例。第48回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9(徳島)
- 33)皆川明大、福田顕弘、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：カロリー制限は糸球体・ポドサイト容積ミスマッチとmTORC1抑制を介して糖尿病性腎症の進行を抑制する。第30回腎と脂質研究会 2018.3.10(大阪)
- 34)Kaname S, Sada K: A nation-wide prospective cohort study in Japanese patients with ANCA-associated vasculitis (AAV). ERA-EDTA-JSN joint symposium, 55th ERA-EDTA Congress, Copenhagen, May 25, 2018.
- 35)要 伸也：妊娠関連TMAに關与するaHUSの鑑別と管理：aHUSの疾患概念と治療の実際。第54回日本周産期・新生児医学会学術集会 ランチョンセミナー9、東京、2018年7月9日。
- 36)要 伸也：難治性腎疾患と分子標的薬(リツキサンなど)：ANCA関連腎炎。第61回日本腎臓学会学術総会 サテライトシンポジウム、さいたま、2018年7月29日。
- 37)要 伸也：二次性腎疾患の最近の知見：ANCA関連血管炎・腎炎の最新知見。第48回日本腎臓学会東部学術大会 ワークショップ2、東京、2018年10月21日。
- 38)要 伸也：膠原病・血管炎に伴う腎障害の診断と治療。日本内科学会関東支部主催 第58回生涯教育講演会プログラム、東京、2018年7月15日。
- 39)要 伸也：保存期から透析に至るCKDのトータルケア：腎臓病療養指導士制度について。第63回日本透析医学会 シンポジウム11、神戸、2018年7月1日
- 40)要 伸也：aHUSの疾患概念と治療の実際。第48回日本腎臓学会西部学術大会 ランチョンセミナー9、徳島、2018年9月29日。
- 41)三木康祐、河村哲也、臼井丈一、永井恵、藤田亜紀子、金子修三、甲斐平康、森戸直記、斎藤知栄、山縣邦弘：ANCA関連腎炎初期治療におけるシクロホスファミド併用の生命予後への寄与、医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2018 京都、京都、2018年4月
- 42)秋山知希、金子修三、角田亮也、河村哲也、藤田亜紀子、森戸直記、甲斐平康、臼井丈一、斎藤知栄、上杉憲子、長田道夫、山縣邦弘：好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の腎病変の臨床・病理学的特徴、第61回日本腎臓学会学術総会、新潟、2018年6月
- 43)西岡ひかり、田原 敬、金子修三、角田亮也、藤田亜紀子、甲斐平康、森戸直記、斎藤知栄、臼井丈一、山縣邦弘：多発腎動脈瘤など中型血管炎病変を伴ったANCA関連血管炎の1例、東京、第644回日本内科学会関東地方会、東京、2018年9月
- 44)西田嶺美、金子修三、河村哲也、田原敬、角田亮也、藤田亜紀子、甲斐平康、森戸直記、臼井丈一、斎藤知栄、山縣邦弘：ANCA関連急速進行性糸球体腎炎(ANCA関連RPGN)における血漿交換療法の透析離脱効果、第39回日本アフェレシス学会学術大会、岡山、2018年10月
- 45)臼井丈一、山縣邦弘：シンポジウム10 膠原病・リウマチ性疾患の難治性病態に対するアフ

エレス、急速進行性糸球体腎炎に対するアフェレス、第 39 回日本アフェレス学会学術大会、岡山、2018 年 10 月

46)川嶋 聡子：MPO-ANCA 関連腎炎における糸球体毛細血管傷害の病理組織学的検討

- MPO・CD20・Plasma Cell の関与 - . 第 61 回日本腎臓学会総会、新潟、2018 年 6 月 9 日

47)Kawashima S, Sano K, Fukuoka K, Karube M, Kudoh A, Komagata A, Kaname S: The role of MPO, Plasma cell and CD20 in the pathogenesis of human MPO-ANCA-associated glomerulonephritis. ASN 2018, San Diego, October 25, 2018.

48)Karube M, Kawashima S, Kaname S: B cell suppression and relapse of vasculitis in maintenance therapy of rituximab for granulomatosis with polyangiitis. ASN 2018, San Diego, October 25, 2018.

49)北川清樹, 安藤舞, 相良明宏, 古市賢吾, 和田隆志. ANCA 関連腎炎の臨床病理所見および予後の変遷. 第 62 回日本リウマチ学会総会 ワークショップ. 東京. 2018 年 4 月 28 日.

50)北川清樹：アフェレス研修会関連企画「みんなで考えよう！この症例でのアフェレス治療は？」(抗 GBM 抗体型腎炎). 第 39 回日本アフェレス学会学術大会 岡山. 2018 年 10 月 27 日

51)米本智美、遠藤知美、垣田浩子、鈴木洋行、武曾恵理、塚本達雄：北野病院における慢性腎臓病（CKD）地域連携診療のアウトカム調査：第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6.8-10 新潟

52)森田元、鈴木洋行、林綾乃、櫻木実、平井大輔、垣田浩子、遠藤知美、井村嘉孝、武曾恵理、塚本達雄：IgA 型抗糸球体基底膜腎炎を合併した全身性エリテマトーデスの一例：第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9.28-29 徳島

53)林綾乃、櫻木実、平井大輔、森田元、垣田浩子、遠藤知美、鈴木洋行、武曾恵理、塚本達雄：消化管出血を契機に診断された多発血管炎肉芽腫症の一例（ポスター）：第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9.28-29 徳島

54)林綾乃、櫻木実、平井大輔、森田元、垣田浩子、遠藤知美、鈴木洋行、塚本達雄、藤田晶昭、井村嘉孝：腎クリーゼ、血栓性微小血管障害を

伴う全身性強皮症に対して血漿交換を施行した 1 例：第 39 回日本アフェレス学会学術大会 2018.10.25-27 岡山

55)Haruki Watanabe, Ken-Ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Effectiveness of remission-induction therapy with concomitant cyclophosphamide and glucocorticoid for microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan: a propensity score matched analysis of two nationwide prospective cohort studies 第 19 回欧州リウマチ学会 アムステルダム 2018 年 6 月 13 日～16 日

56)S. Fukui, K. Ichinose, K.-E. Sada, M. Harigai, A. Kawakami, on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Complement factors of the alternative pathway in gpa and mpa 第 19 回欧州リウマチ学会 アムステルダム 2018 年 6 月 13 日～16 日

57)Haruki Watanabe, Ken-Ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Effectiveness of remission-induction therapy with concomitant Cyclophosphamide and glucocorticoid for patients with microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan 第 20 回アジア太平洋リウマチ学会 高雄 2018 年 9 月 6 日～9 日

58)Yasuhiro Katsumata, Ken-ei Sada, Tomohiro Kameda, Hiroaki Dobashi, Hisashi Yamanaka and Masayoshi Harigai Comparison of Various ANCA Detection Methods in Predominantly MPO ANCA-Associated Vasculitis Cohort 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018 年 10 月 19 日～24 日

59)Nozomi Yokoyama, Aya Kawasaki, Takashi Matsushita, Hiroshi Furukawa, Yuya Kondo, Fumio Hirano, Ken-ei Sada, Isao Matsumoto, Makio Kusaoi, Hirofumi Amano, Shohei Nagaoka, Keigo Setoguchi, Tatsuo Nagai, Kota Shimada, Shouji Sugii, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Matsui, Akira Okamoto, Noriyuki Chiba, Eiichi Suematsu, Shigeru Ohno, Masao Katayama, Kiyoshi Migita, Hajime Kono, Minoru Hasegawa, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Kunihiro Yamagata, Shoichi Ozaki, Manabu Fujimoto, Naoto Tamura, Yoshinari Takasaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Masayoshi Harigai, Shinichi Sato, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Kazuhiko Takehara and Naoyuki Tsuchiya. Association of

- GTF2I Region Polymorphism with Systemic Lupus Erythematosus and Systemic Sclerosis, but Not with ANCA-Associated Vasculitis and Polymyositis/Dermatomyositis, in a Japanese Population 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日
- 60)Aya Kawasaki, Ken-ei Sada, Fumio Hirano, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Hiroshi Furukawa, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Kunihiro Yamagata, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Shoichi Ozaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Masayoshi Harigai and Naoyuki Tsuchiya Association of HLA Class II Alleles with Relapse and Interstitial Lung Disease in Myeloperoxidase (MPO) -ANCA Positive Vasculitis in a Japanese Population 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日
- 61)Yuka Iwahashi, Aya Kawasaki, Takayo Tsuchiura, Ken-ei Sada, Fumio Hirano, Daisuke Tsukui, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Hiroshi Furukawa, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Nao Nishida, Kunihiro Yamagata, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Shoichi Ozaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Hajime Kono, Masayoshi Harigai and Naoyuki Tsuchiya Detection of Association of Long Noncoding RNA ATP6V0E2-AS1 Single Nucleotide Polymorphism with Susceptibility to Myeloperoxidase-ANCA Associated Vasculitis Based on Transcriptome Analysis 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日
- 62)佐田 憲映, 原 章規, 和田 隆志, 本間 栄, 針谷 正祥 クラスター解析を用いた ANCA 関連血管炎の分類と重症度に関する検討 第 62 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 63)浅井 玲央, 川崎 綾, 平野 史生, 佐田 憲映, 小林 茂人, 山田 秀裕, 古川 宏, 長坂 憲治, 杉原 毅彦, 山縣 邦弘, 住田 孝之, 當間 重人, 尾崎 承一, 橋本 博史, 榎野 博史, 有村 義宏, 針谷 正祥, 土屋 尚之 日本人集団における ANCA 関連血管炎と proteinase 3 遺伝子(PRTN3)領域多型の関連 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 64)川崎 綾, 平野 史生, 佐田 憲映, 小林 茂人, 山田 秀裕, 古川 宏, 長坂 憲治, 杉原 毅彦, 山縣 邦弘, 住田 孝之, 當間 重人, 尾崎 承一, 橋本 博史, 榎野 博史, 有村 義宏, 針谷 正祥, 土屋 尚之 日本人 ANCA 関連血管炎の HLA-class II ヨーロッパ系集団との比較 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 65)Haruki Watanabe, Ken-ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino Reappearance of MPO-ANCA is associated with relapse in ANCA-associated vasculitis; a nationwide nested case-control study 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 66)長坂 憲治, 佐田 憲映, 駒形 嘉紀, 堤野 みち, 針谷 正祥, 有村 義宏 血管炎診療の最前線 MPA、GPA に対するリツキシマブ治療 RemIRIT 研究から 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 67)平原 慎也, 勝又 康弘, 佐田 憲映, 川口 鎮司, 山中 寿, 針谷 正祥 SF-36 と EQ-5D による ANCA 関連血管炎患者の健康関連 QoL についての 2 大学横断調査 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
- 68)Comparison among dominant C1q positive cases including C1q nephropathy classified by immunofluorescence Shuichiro Endo, Erina Ono, Eri Muso, Motoko Yanagita. The 7th Japanese-Chinese Renal Pathology Conference January 13th, 2019
- 69)横紋筋融解症に続発する急性腎障害の新たな展開:マクロファージ細胞外トラップ. 平橋 淳一 日本筋学会学術集会 シンポジウム・2018年8月1日
- 70)ヒストンによる血小板凝集の形態的解析 鈴木英紀, 平橋淳一, 平橋淳一 日本血栓止血学会誌 2018年5月1日
- 71)次世代シーケンサーにより,遺伝子診断が行われ,確診にいたった地中海熱の一例. 林松彦, 平橋淳一, 吉田理, 山崎修, 藤島清太郎, 新井康通, 小崎健次郎 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2018年
- 72)廣村桂樹:ループス腎炎の診断と治療. 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 教育講演, 東京, 2019年4月27日.
- 73)廣村桂樹:難治性腎疾患と分子標的薬(リツキシマンなど):わが国のループス腎炎の診療実態と新規治療の展望. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 サテライトシンポジウム, さいたま, 2018年7月29日.
- 74)井上 暖, 小島 糾, 岩間 佐智子, 杉崎 健太

郎, 富安 朋宏, 吉川 憲子, 山田 宗治, 尾田 高志: ANCA 関連腎炎における糸球体への補体沈着と臨床・組織所見との関連性. 第 61 回日本腎臓学会学術総会

75)当科における難治性ネフローゼ症候群に対するリツキサンの治療成績. 白井小百合、田邊淳、小波津香織、上原温子、松井勝臣. 第 61 回日本腎臓学会総会

76)よくわかるシリーズ 腎移植後の再発腎炎. 山田英行、小口英世、小林静佳、兵頭洋二、斉藤彰信、田井怜敏、澁谷正樹、川口祐輝、荒井太一、根本哲生、渋谷和俊、大橋靖、穴戸清一郎、酒井謙. 第 4 回腎移植内科研究会, 名古屋, 2018.7.

77)救命でき得なかった高齢発症の特発性ネフローゼ症候群の 1 剖検例.日本腎臓学会東部学術大会, 新宿, 2018.10

78)Ozeki T, Nagata M, Katsuno T, Inagaki K, Kato S, Yasuda Y, Tsuboi N, Maruyama S. Clinical implications on simple attachment and endothelial damage in the glomeruli of adult nephrotic focal segmental glomerulosclerosis (FSGS): A retrospective cohort study. ASN Kidney Week 2018, San Diego, CA. October 2018.

79)尾関貴哉, 丸山彰一, 今澤俊之, 川口武彦, 北村博司, 首村守俊, 片渕律子, 岡一雅, 佐藤博. 「J-RBR を利用した、わが国の巣状分節性糸球体硬化症 (FSGS) の臨床像についての検討」. 第 48 回日本腎臓学会西部学術大会シンポジウム 徳島, 2018 年 9 月

H . 知的財産権の出願・登録状況

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

3 . その他